

2024 年度 学校法人 三幸学園 横浜医療秘書専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 大川 正裕

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として医療現場で医療事務・診療情報管理を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

【教務】

授業アンケートの改善

- ・私語や居眠りがなく適切な授業環境だったか。 分野平均3. 57 ⇒結果3. 48（4段階評価）
 - ・この授業は興味をひくものでしたか。 分野平均3. 64 ⇒結果3. 59（4段階評価）
- ⇒授業アンケートにおいては、分野平均を昨年度も下回る結果となり、早急な授業改善が必要となる。

退学率

- ・2023年度 3. 7%
 - 2024年度 7. 2%と増加となった。
- ⇒大きな要因として、通信制高校出身者の中途退学が増加。精神疾患により登校ができない生徒の増加が多くみられた。

【広報】

募集は好調であった。

2023年度 171名入学者

2024年度 191名入学者 前年比から+20名増となり、医療秘書科は1クラス増やす運営となる。

特に通信制高校出身者の入学生は全体の3分の1近い人数となった。

地域 NO.1 の学校を維持できるよう今後も募集に注力していく。

【就職】

2023年度 100%

2024年度 96.65%(3月末時点)

3名の未決定者については、地域に限定した就職を希望していたため採用に至っていないことが要因。

引き続きフォローを行っていく。

就職への意識を高めるために、5月に医療機関説明会を実施し、延べ25件以上の医療機関の方をお呼びし学内で説明会を実施。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

職業観を伝え、将来構想をイメージさせることが難しい。

学んでいることが現場でどのように繋がっていくかが1年次に伝わりきらず目標喪失となる生徒が多い。

② 今後の改善方策

医療機関の方と卒業生のお話を聞く機会を増やしていく。

医療秘書科において、全国シミュレーション大会の実施 結果：全国準優勝

⇒医療現場の方からのご指導を仰ぎ、よりリアルな現場を想定した授業展開と生徒の将来イメージの明確化

③ 特記事項

なし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

2024年度より人事制度の改正により、制度自体の職員の理解不足。

生徒の欠席増加により、欠時管理の担任業務負担。

② 今後の改善方策

人事制度について担任会議等で継続的に常勤メンバーへ伝える機会を増やす。

生徒の欠時連絡を講師と担任が連携をして行う。講師は Google クラウドルームを活用しタイムリーに生徒へ個別連絡、担任は全体の単位を把握し、本人・保護者へ適宜書面連絡。

③ 特記事項

なし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

診療情報管理士の教員が不足しており他校の兼務をお願いしている状況。

常勤職員の若年化により、業界への理解と知識不足がある。

職員にむけた研修が不足している。

② 今後の改善方策

学校単独で採用ができるよう、引き続き活動を行っていく。卒業生や医療機関の方とも連携し、診療情報管理士資格の指導ができる講師を依頼していきたい。

若手・異動者が三幸グループの医療事務通信講座で資格を取得している。このような講座受講者を増やし、教員の知識向上を図っていく。

③ 特記事項

なし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

任意検定、上級検定への取得率を上げていく。

入学者の学力不振や勉強方法の分からない生徒の増加。

通信制高校出身者増加による、退学者の増加と週5登校が難しい。

② 今後の改善方策

学内での就職説明会を実施の強化。

担任・教科担当から検定取得の大切さを伝える。

検定 WEEK、スタディサポートの継続した取り組みと教科チーフを中心に講師と連携し、検定取得に向けた意識付けと指導方法の情報交換を行う。

通信制高校出身者の増加により、ハイフレックス授業(オンラインと対面授業)を導入。通学スタイルを多様化していく。

1年次クラスの時間割を、朝9時からを全て10時登校スタイルへ変更。

メンタル面で登校不安な生徒に対して、担任のみの対応ではなくスクールカウンセラーと連携し1日でも登校ができるように支援をしていく(トイレにスクールカウンセラーの案内文の掲示など)。

三幸グループの日本教育クリエイト(人材派遣)に卒業後の転職など促しを継続。

③ 特記事項

なし

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

学生の相談に対して、スクールカウンセラーへの促し不足。

相談に対して、常勤メンバーの若年化による知識や経験不足ですぐに解決しきれない問題があった。

② 今後の改善方策

スクールカウンセラーの生徒への周知を広くおこなう。生徒全員が見るアプリでの告知、トイレなどの校舎内での告知の強化。

日々のタイムリーな情報はクラスチャットを活用し、担任会議で月に一度クラス状況の確認と生徒個人の状況確認を全教員で行うことで問題意識の向上を図る。

③ 特記事項

なし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

生徒数増加に伴い、教室、サードプレイス(フリースペース)の不足。

⇒放課後に生徒が自由に勉強をする教室や面談等の教室が不足をしている

病院実習では3週目に体調不良による欠席者や事前の指導不足により、実習態度が問題視された生徒が数名いた。

② 今後の改善方策

同じ校舎の飛鳥未来関内キャンパスにも協力をお願いし、教室不足時には借りことが出来るよう連携を図っていく。

病院実習では、事前の生徒指導を担当会議でしっかりと目合わせを行い十分な指導を行ったうえで実習にいかせたい。

また、医療機関や企業での入社前後(配属前後)の研修など、どのようなことを実施しているかご意見をいただき、指導にも反映していく。

③ 特記事項

なし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

医療事務職、診療情報管理士の職業の魅力と認知をより広めていきたい。

② 今後の改善方策

医療機関の方、卒業生をお呼びしたイベントを開催し、高校生に現実味ある話を聞く機会を設けることで募集を拡大していきたい。

③ 特記事項

なし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

継続した法令順守の推進。

② 今後の改善方策

学園全体でコンプライアンス研修をオンデマンドで今後も継続的に実施をしていく。

③ 特記事項

なし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

地域推進(関内エリア)においての貢献が不十分である。

② 今後の改善方策

地域活動、ボランティア活動への積極的な参加をし、学校・専門学生の認知拡大をしていきたい。

③ 特記事項

なし

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

学内において留学生と日本人が混在するクラスが発生する。

② 今後の改善方策

2025年度は学園全体でも留学生の受け入れを強化していくため、クラス全体、講師への理解や動機付けが必要となる。

③ 特記事項

なし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・通信制高校出身者への対策

通信制高校出身者の入学者増加に伴い、登校する習慣のない生徒に向けたフォローが必要となる。

今後は、ハイフレックス授業などの通学スタイルを選択することや時間割の工夫などで退学低減に繋げていく

- ・地域連携の強化

周辺地域の方々とボランティア等を通じて、医療校の認知拡大。

医療従事者としての立ち居振る舞いを日々指導していく必要がある。